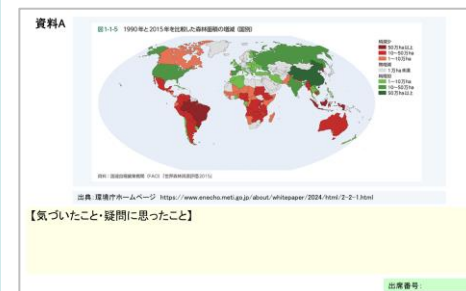


学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5-中3	社会・総合	情報をもとに自ら学習課題を見出す	プレゼンテーションソフト
授業内容	資料から気づいたことをもとに、学習課題を見つけよう		
準備：	<p>・調べるテーマに関する画像や資料のワークシート用ファイルを準備する。</p> <p>・ワークシート用ファイルのスライドをクラスの数分コピーして共同編集できる場所に保存する。または課題として子供たちにコピーを配付する。</p>		
授業の流れ：	<ol style="list-style-type: none"> 各自、ワークシートの資料を見て、疑問に思ったところや気づいたところに印をつけたり、コメントを入れたりする。 全体で、それぞれの資料のどこに皆が着目しているか共有する。 <p>ワークシート例1 森林が減少している国がある⇒森林火災など環境に着目、あるいは森林伐採など土地の利用に着目</p> <p>ワークシート例2 夏なのにキャベツが育てられている、電気柵がある⇒高原での栽培に着目</p> グループでどの着眼点を元に調べるか決める。 グループで選んだ着眼点について、疑問や気づきを元に話し合い、調べること（課題）を決める。 グループで調べたことを共有し、わかったことをまとめる。 全体で発表し、新たに持った疑問を伝え合う。 		
サポートおすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> 共同編集機能を使うことで、資料のどこに着目されたかを全体で確認できます。 社会の単元の導入時やSDGsなど総合の学習の際に、子供たち自身が疑問に思ったこと、気になったことを調べることで、より主体性をもって取り組むことができます。さらに調べた結果共有し新たな疑問をもつことで、探究型の学習を進めていくこともできます。 		

ワークシート例1：データを資料とした例



出典：環境省ホームページ
(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h30/html/hj18010101.html>)

ワークシート例2：
写真を資料とした取り組み例